



まちのほけんしつ

ぽかぽかだより

2023年 3月号



2023年3月発行
まちのほけんしつ
病児保育室「ぽかぽか」
(TEL0749-68-3216)

まだまだ気温の低い朝が続いています。当院では年明けからインフルエンザのお子さんが増え、滋賀県からも、1月11日付で「インフルエンザが流行期に入りました～予防の徹底を～」というお知らせが発表され、以下の注意が呼びかけられています。

～インフルエンザと対策の共通点が多い新型コロナウイルス感染症の感染対策を継続して実施してください～

- ❖ 場面に応じてマスクを着用し、咳エチケットを守りましょう。
- ❖ 外から帰ったら、手洗い・うがいをしましょう。
- ❖ 特に、高齢者施設や障害者施設では、同一部屋に人が複数人滞するときは、換気により空気が滞留しないように工夫してください。
- ❖ 栄養と休養を十分にとりましょう。
- ❖ 発症・重症化を防ぐために、ワクチンの接種をご検討ください。
- ❖ 症状や重症化リスクに応じた医療機関の受診にご協力ください。



◆インフルエンザについて

冬に大流行する呼吸器の感染症で、気管支炎や肺炎、脳炎・脳症、中耳炎を起こすなど重症化しやすい病気です。5歳未満は入院リスクが高いとされています。
約1～4日の潜伏期間の後、高熱・だるさ・のどの痛み・頭痛などが出ます。腹痛や嘔吐などの症状が出ることもあります。熱は4～5日続くことが多く、小児の場合は一旦解熱した後24時間以上経ってから再び発熱することがあります。症状は1週間ほどで改善しますが、乳幼児では咳が長引くことがあります。



◆治療法は？……自然経過で治ることがほとんどです。

<抗インフルエンザ薬> 発症48時間以内の投与で、発熱などのインフルエンザの主要症状が1～2日短縮

処方薬		用法・用量	処方の目安	注意
内服薬	タミフル®	2回/日 5日間	粉:5歳未満(体重が37.5kg未満) カプセル:(体重が37.5kg以上の人)	副作用として、吐き気・嘔吐などの胃腸症状がみられることがある
	ゾフルーザ®	1回	錠剤	小児への投与は推奨されていない
吸入薬	リレンザ®	2回/日 5日間	10歳以上	吸入が可能なこと
	イナビル®	1回	(5～9歳:吸入可能な場合に処方)	投与時の感染対策が必要
点滴薬	ラピアクタ®	1回	全年齢	内服や吸入が困難な場合に使用

日本小児科学会では、**幼児や基礎疾患がある方など重症化リスクが高い患者や呼吸器症状が強いお子さんへの投与を推奨しています。** また、抗インフルエンザ薬の投与に関わらず、就学期以降の小児・未成年については異常行動などについて注意し少なくとも2日間は見守りが必要とされています。

(妊娠中もしくは授乳中の母親が抗インフルエンザ薬を使用しても、胎児や授乳中の赤ちゃんに影響はないとされています。)

◆罹患後の治癒証明……出席停止解除のための受診(検査)は必須ではありません。

また、治癒後の受診は、① 病院で他の感染症に罹患するリスク ② 保護者や医療機関の負担増加、などの問題があります。そのため、**登園・登校再開に際して医療機関が発行する治癒証明書は不要**で2009年の新型インフルパンデミックの際にも厚労省から治癒証明を求めないよう学校側に指導がなされています。ただし、園や学校から受取り保護者が記入する「インフルエンザ罹患による欠席報告書」は提出してください。(引用:日本小児科学会 2022/2023シーズンのインフルエンザ治療・予防方針)

「アレルギー生活管理表」をご存じですか？

様々なアレルギーを持ちながら、園・学校生活を送るお子さんが増えています。

重症の食物アレルギーをお持ちのお子さんは、少量の混入や接触でアナフィラキシーを起こすことがあります。このような、アレルギーを持つお子さんが安全に園・学校生活を送るために「生活管理表」があります。この書類は、**本人(家族)と園・学校(医)・かかりつけ医**がお子さんの状態を正しく理解し、アレルギーを持ちながらも安心して学校生活を送るために認識を共有し、タッグを組めるようにするための書類です。

この書類の重要性を鑑み、昨年の4月からこのアレルギー管理表が一部保険適応になりました。

※かかりつけ医から園・学校医への紹介状(診療情報提供書)に該当する場合は、保険適応になります。

【診療情報提供書として扱いが可能な条件】

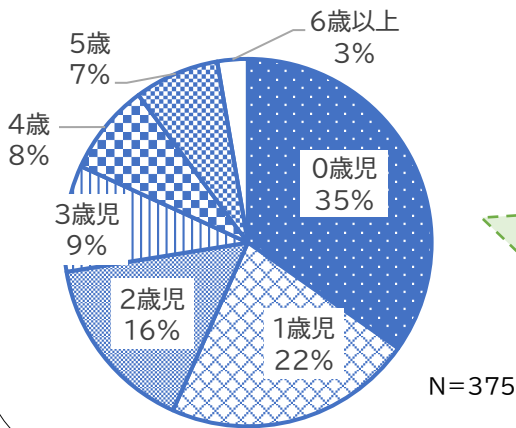
- ❖ 学校医・園医の名前が記入されていること
- ❖ かかりつけ医と学校医・園医が同一でないこと



情報提供先学校名 _____ 学校医等 _____	
【滋賀県版】学校生活管理指導表(アレルギー疾患用) <表>	
名前 _____ (男・女) _____ 年 _____ 月 _____ 日生 (_____ 歳) _____ 学校 _____	
※この生活管理指導表は、学校の生活において特別な配慮や管理が必要となった場合に医師が作成するものです。 ※管理指導表は症状等に変化がない場合であっても、配慮や管理が必要な間は、少なくとも毎年提出してください。	
病型・治療	学校生活
A 食物アレルギー(食物アレルギーありの場合のみ記載)	A 給食
1. 即時型	1. 管理不要 2. 管理要
2. 口腔アレルギー症候群	
3. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー	B 食料・食料を扱う作業
4. その他 _____	1. 管理不要 2. 管理要
B アナフィラキシー(アナフィラキシーの既往ありの場合のみ記載)	C 運動(体育・移活動等)
1. 食物 (原因 _____)	1. 管理不要 2. 管理要
2. 食物依存性運動誘発アナフィラキシー _____	D 宿泊を伴う校外活動
3. 運動誘発アナフィラキシー _____	1. 管理不要 2. 管理要
4. 昆虫 _____	
5. 医薬品 _____	E 原因食物を除去する
6. その他 _____	

～病児保育室ぽかぽか利用状況～

年齢別利用割合(2022.4～2023.1)



こちらは、2022年4月～2023年1月末までに病児保育室を利用されたお子さんを年齢別にみたものです。

0歳児の利用が35%と一番多く、0歳児～1歳児の利用が全体の半数以上を占め、2歳児を合わせると7割を超えています。

0歳～2歳の年齢が低いお子さんは、病気に対する抵抗力が未熟なため、一度症状が出ると長引いてしまうことが多くあります。完全に回復しないまま登園してしまうと、集団生活の中でまたすぐに体調不良になってしまうこともしばしばです。

入園される前の準備や体調不良時のお守りとして、まずは、病児保育室への「登録」をお勧めします。また、登録や利用についてのお問い合わせにも病児保育スタッフ(保育士や看護師)が対応しますので、気軽にご相談ください。(TEL:0749-68-3216)

2022年4月に保育利用時間を見直し、

❖ 早朝保育 ❖ 夕方延長保育を新設しました。全体の約3割の方が利用されており、利用のしやすさにつながっていると感じています。
《早朝保育・夕方延長保育:500円/30分》
※早朝保育の利用には、前日までに病児利用前診察が必要です。

早朝保育・夕方延長保育の利用割合(2022)

	利用児数(のべ)	利用割合
4月～1月	375	
早朝保育(8:00～)	94	25.0%
夕方延長保育(17:00～18:00)	136	36.4%

インフルエンザでの利用を希望される際は、インフルエンザワクチンの接種(当該シーズン1回)が必要です。重症化予防のための対策となりますのでご理解・ご協力をお願いします。(その他の疾患とインフルエンザの同室あずかりはできません、ご了承ください。)

お知らせ

